

平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市下倉田地域ケアプラザ

2 事業計画

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- 施設の維持管理については「地域ケアプラザの管理運営に関する基本協定書」に基づき「管理保守点検等業務」を実施します。
- 給湯器に不具合が生じています。デイサービスでの入浴で使用する際には一度にお湯を使わない、出しっぱなしにしないなどに気をつけてできるだけ長持ちするようにします。
- 設備、物品について日ごろの保守点検や使用方法に留意し故障や破損がないように努めます。
- 施設修繕については、区と協議し適切な修繕かどうか判断します。
- 館内整備や植栽管理については、地域の方の協力を得て環境整備に努めます。

イ 効率的な運営への取組について

- 貸館利用者、スタッフには節電・節水への取り組みの呼びかけを継続して実施しコスト削減に努めます。
- 消耗品の発注については 事業所全体で管理しムダを省きます。
- 会議・ミーティングを有効に活用し、時間・モノのムダを省き効率的に運営することに取り組みます。

ウ 苦情受付体制について

- 苦情受付窓口や解決責任者名を施設内に掲示し周知を図ります。
- 苦情解決マニュアルを作成しそれに基づき対応します。
- 年4回開催される法人の理事会・評議員会において、苦情受付状況及び対応方法等について報告するなど再発防止に務めます
- 記録に残りにくい、地域活動交流事業部門の「ご意見・ご要望」については記録に残すようにします。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- 法人で定めた「防犯」「防災」規程に基づき事故防止に取り組みます。
- 事業所内にリスクマネジャーを置き、事業所全体で事故対応や再発防止に取り組みます。
- スタッフミーティング等でヒヤリ・ハットの事例を出し合い再発防止に務めます。
- 事故が発生した場合には事故対応マニュアルに基づき行動し、区、市へ速やかに報告し、職場での原因分析と再発防止策を検討します。

オ 事故防止への取組について

- 法人で定めた「事故対応及び予防に関する規程」に基づき事故防止に取り組みます。
- 事業所内にリスクマネジャーを置き、事業所全体で事故対応や再発防止に取り組みます。
- スタッフミーティング等でヒヤリ・ハットの事例を出し合い再発防止に務めます。
- 事故が発生した場合には事故対応マニュアルに基づき行動し、区、市へ速やかに報告し、職場での原因分析と再発防止策を検討します。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- 「個人情報の保護に関する法律」等の法令遵守することに務め、法人内では「個人情報保護規程」を定めて個人情報保護に取り組みます。
- 個人情報を含む書類のFAX送信や郵送等に関しては個人が特定できる部分を削除し必ず複数による確認を行います。
- 全職員対象の個人情報保護の法人研修を実施し、地域ケアプラザ個人情報漏えい防止チェックを実施します。

キ 情報公開への取組について

- 利用者アンケートの結果については広報誌等で公表します。
- 月1回発行している広報誌や事業の予定を法人のホームページに掲載し、定期的な更新により公開します。
- 広報誌を各自治会の掲示版に掲示します。

ク 人権啓発への取組について

- 自主事業では地域住民向けに認知症・障害者を理解する講演会を企画し、人権を尊重し、排他的にならない地域づくりに取り組みます。
- 全員参加の法人研修では人権について考える取り組みを実施します。
- 相談受付の時には介護放棄や虐待などにあたらぬか、注意して情報収集にあたります。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- リユース・リサイクルに努め ごみの削減を実施します。
- 水道光熱費等は昨年より使用量減を目指します。
- 備品や消耗品の購入の際には環境に配慮した物品選びをします。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師職1名（常勤）・社会福祉士職1名（常勤）・主任介護支援専門員1名（常勤）
介護支援専門員（非常勤）

《目標》

要介護状態になることを予防し、自助、共助、互助の機能を促進、地域活動への参加等地域とのつながりを重視した支援を実施していく。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

エリア内に4会場ある元気づくりST、地域の町内会館等でのサロンや老人クラブ、婦人会などに活動介護予防ボランティアを体操講師として派遣し、地域活動を要支援の方にインフォーマルサービスとして積極的に紹介している。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
70	74	77	81	84	90
10月	11月	12月	1月	2月	3月
94	99	102	105	107	108

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- 管理者 1 名
- 常勤職員 1 名 非常勤 1 名

《目標》

- 「利用者が地域で自分らしく快適に生活できるようなケアプランを作成をします。
- 利用者の思いやご家族の意向を受け止めながら、抱える課題を明らかにして具体的な生活の目標を設定します。
- 複雑な制度についてわかりやすい説明を心がけます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 地域支援事業や予防給付対象者と整合性や継続性が図れるように地域包括支援センターと連携をしている。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
41	44	48	51	54	60
10月	11月	12月	1月	2月	3月
63	67	70	72	74	74

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎・入浴・食事・体操・生活機能向上プログラム
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 802 円
 - （要介護2） 935 円
 - （要介護3） 1073 円
 - （要介護4） 1211 円
 - （要介護5） 1348 円
- 食費負担 750 円
- 紙パンツ105円・パット15円・防水テープ120円・がせ（小20円・大30円）
-

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9：30～16：30 （半角で入力 例9：00～15：00）

《職員体制》

- 常勤介護職 2名
- 非常勤介護職 13名
- 看護職 3名
- 運転手 5名

《目標》

- 自立支援を軸に住み慣れた地域でその人らしく生きがいを持ち安心して生活が出来る様支援してゆく。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 年に2回外出レクリエーションを実施しており、介護計画にのっとりご自分の参加したい場所へ安全にスタッフと外出し、社会交流を図っております。囲碁、将棋、習字クラブ、折り紙クラブ、カラオケ、麻雀等趣味活動も盛んです。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
380	417	416	410	426	416
10月	11月	12月	1月	2月	3月
406	401	365	355	355	410

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎・入浴・食事・体操・生活機能向上プログラム
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - (事業対象者) 円
 - (要支援1) 2006 円
 - (要支援2) 3995 円
- 食費負担 750 円
- 紙パンツ105円・帽子15円・防水テープ120円・ガゼ（小20円・大30円）
-

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30 (半角で入力 例9:00~15:00)

《職員体制》

- 常勤介護職 2名
- 非常勤介護職 13名
- 看護職 3名
- 運転手 5名

《目標》

- 自立支援を軸に住み慣れた地域でその人らしく生きがいを持って安心して生活ができるよう支援していく。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 囲碁、将棋、習字クラブ、折り紙クラブ、カラオケなど趣味活動も盛んです。また食事も充実しており季節に合った行事食やバイキングも好評を得ています。
- 口腔体操やリハビリ体操も力を入れています。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
13	14	14	12	13	14
10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	14	13	13	12	12

戸塚区版《29年度 事業計画書》 横浜市下倉田地域ケアプラザ

地域の現状と課題

●エリアの高齢化は毎年1%ずつ上昇し25%を超えた。介護予防への関心が高く、体操などの健康づくり講座には参加者が多い。介護保険認定率も区内では低く元気な高齢者が多い地域。●高齢者に関する相談は増えてきているが、一方で児童や障害児者の相談はすくなく実態が掴めておらず、埋もれてしまっている可能性がある。●地域活動は盛んで連合まつりや地区社協によるミニデイは活発に行なわれているが、地域活動に携わる担い手が限られていて同じ顔ぶれで、高齢化が進んでいことが課題。●大学が近隣にあるため低家賃の低層共同住宅(アパート)が多く、エリア外からの転入者が多い。その中には生活保護受給者、低所得のシングルマザー、独居高齢者など支援を必要としている方も多くいると予測されるが、実態が把握できていない。●認知症独居高齢者が増えているが、どうかかわっていいかわからない、という声も聞かれ、「認知症になっても地域で暮らし続ける」ことをどうすすめるか課題がある。

今年度の重点目標

- 地域に出向くことで、ケアプラザに来たことない人に出会ったり、新しいニーズを発掘する
- 5職種連携で個別支援と地域支援に取り組む
- 男性が集まれる場所づくりをすることで担い手を発掘する
- 認知症になっても地域で暮らし続けられるために、地域住民の認知症理解をすすめる

全事業共通

総合相談(高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供)

- 高齢者・障害・子どもに関する様々な相談記録を残し、相談内容の傾向等把握します。又 相談内容にあった情報提供を行います
- 相談対応には区、医療機関等、関係機関と連携しながらすすめ、情報提供、報告を密に実施します。
- 自主事業や会議等でも相談しやすい環境作りを行い、情報提供を行います。
- 民生委員・地域からの相談についてはワンストップ相談を実施し「まずは傾聴する」ことを実施します。

各事業の連携

- 5職種が連携し、それぞれが持っている情報を交換したり、役割分担してサロン・ミニデイなどに出向き地域アセスメントを実施します。
- 地域包括支援センターが把握している個別相談の課題と地域・生活コーディネーターが持っている地域活動への参加状況等による地域住民の情報をつなぎ合わせ、個別の支援体制や地域を対象にした支援体制をつくることをしていきます。

職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 職員の資質向上等を計るために育成計画を作成し研修に取り組みます。
- 研修参加者による報告を共有し、学びあいの姿勢を育みます。
- 地域包括支援センターの業務運営にあたっては公正・中立性をもって対応します。

地域福祉保健のネットワークの構築

- 地域の関連団体(民児協・地区社協・連合町内会)の定例会はケアプラザで開催されるので 毎回地域・生活コーディネーター・社会福祉士・主任ケアマネジャーのいずれかが出席し定期的に情報交換を行います。
- 地区別地域福祉保健計画の推進のために推進会議や計画遂行のための支援を実施します。
- 子育て分科会の地域ネットワークの為の会合を開催し、児童虐待の早期発見や子育て支援のための事業企画について話しあいます

戸塚区版《29年度 事業計画書》 横浜市下倉田地域ケアプラザ

区行政との協働	<ul style="list-style-type: none"> ●戸塚区地域福祉保健計画(ハートプラン)の地区別計画の推進に区と協働して取り組みます。 ●あつまり場介護予防普及強化業務委託等、区からの委託事業を地域住民と協力し実施します。 ●虐待事例・見守り事業における安否確認などは連絡をとりあい連携とりながら取り組みます
地域活動交流事業	
自主企画事業	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てパパを対象にした事業を実施することでいままでケアプラザに来ていなかった世代の掘り起こしを実施します。 ●自主事業を通し、新たな福祉保健活動につながるように情報提供・相談支援を行います。 ●随時アンケートをとり、地域ニーズにそった事業をおこないます。 ●参加者の感想等を取った場合は、情報ラウンジにて掲示します。
福祉保健活動団体等が活動する場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ●H29年度4月より、貸し館のマニュアルが変わった為、既存の団体や新規団体にわかりやすく説明し、随時、相談対応していきます。 ●利用者も貸し館の情報を見れるように、毎月の予定早見表を作成します。 ●部屋の予約が取りにくい場合でも、比較的利用しやすい曜日や時間を紹介することで、活動の活性化を支援します。
ボランティアの育成及びコーディネート	<ul style="list-style-type: none"> ●貸し館の登録団体も含め、新規ボランティア活動につながるように、ボランティア活動の情報提供に努めます。 ●ボランティア活動がさかんになるように地区社協やデイサービスとも連携していきます ●ボランティア同士が交流し、活動がさかんになるように新規ボランティア同士の交流の場も提供していきます。
福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ●貸し館に登録している団体の情報を情報ラウンジにおくことで、来館者が新たな活動につながるようなきっかけ作りを行います。 ●地域住民との交流を持つことで、さまざまな情報収集・共有に努めます。 ●展示ファイルや広報誌・はつらつシニア読本・掲示板等も使用し各種団体・サークル・ボランティアの情報提供を会議やさまざま場所で行います。又ホームページの更新を毎月行います。 ●下倉田地域ケアプラザ祭りを実施し、地域住民を実行委員として募り、地域の福祉保健団体の活動発表の場を設けたり、地域住民の活躍の場として提供します。
生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター・協議体の設置等を通じた生活支援・介護予防の充実)	
事業実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ●協議体において出た課題である「男性の集まりやすい場」と地域ケア会議で課題として出た「認知症の方や家族が来やすい場所・相談しやすい場所」の創出に向けて取り組むために、検討会という形で協議体を実施し、場の創出をしていく。 ●アンケートの結果で出た「住まいの修繕や家具の移動等」のボランティアグループ創設のために、ボランティア講座を開設し取り組みをしていく ●昨年度関係づくりをした商店と連携し、イベント等を行い周知活動をし、居場所づくりに向けた取組を行う。 ●町内会の集まりやサロン等に顔を出し、地域活動について支援できる事があれば、積極的に連携して取組を行うため、必要に応じて検討会という形で協議体を実施していく。

戸塚区版《29年度 事業計画書》 横浜市下倉田地域ケアプラザ

地域アセスメント(ニーズ・資源の把握・分析)

●引き続き地区レベルについてのアセスメントを実施するために、サロンや町内会の集まり等に積極的に顔出しをしていく。 ●地域の集まりに顔を出すことで、地域活動について支援できる事については、協働で取組、必要に応じてニーズ調査などを呼びかけ実施していく。 ●地域支援をしていく時の情報提供のため、区レベル、市レベルについても引き続き情報収集をしていく。

連携・協議の場

●「男性の集まりやすい場」と「認知症の方や家族が来やすい場所・相談しやすい身近な場所」の検討のため、分科会という形で協議体を開催、創出に向けて進めていく。 ●町内会や地域の団体や商店等と協働できる事について出てきた時には、検討会という形で協議体を開催する。 ●年度末に地域ケア会議という形で、今後の取組等について連合連長や団体の長等に参加してもらって全体的に開催する。

より広域の地域課題の解決に向けた取組

●地区全体の課題解決のために、「男性の集まりやすい場」と「認知症の方や家族が来やすい場所・相談しやすい身近な場所」をモデル的に今年度実施し、地区全体で検討できるように支援していく。 ●前述のモデルを実施する事で「協議体から地域課題検討→場の創出や活動の創出に向けての検討→場や活動の創出」という流れを周知できるようにする。 ●地区にとどまらない課題については、生活支援コーディネーター連絡会等によって第1層の課題として検討してもらうようにしていく。

地域包括支援センター運営事業

総合相談支援業務

地域におけるネットワークの構築

- 地域包括支援センターの理解が深まるように地域の会合等に参加する際に役割や事業内容の分かるチラシを用いて周知を行います。
- 地域のまつりやイベントに参加し地域の状況把握とアセスメントを行い地域課題の把握に努めます。
- 毎月定期的に参加をしている地域の給食会・サロン老人会・体操教室にて、地域住民の状況把握とアセスメントを行ないます。
- 地域での見守り体制を確立するため地域住民・関係機関との連携強化に努め、見守りが必要なケースの把握と情報共有を図ります。
- 地域の社会資源や情報を集約したものをエリアマップに盛り込み、誰もが分かりやすい情報を提供します。

実態把握

- 各種統計資料等から担当エリアの情報収集をします。
- 相談や地域行事の参加、関係機関からの情報収集により個別、圏域のニーズ把握を行ないます。
- 地域のインフォーマルサービスの把握、活動の担い手とのネットワークづくりに努めます。

総合相談支援

- 地域の身近な相談窓口として高齢者の様々な相談を受け止め、的確な相談内容の把握に努めます。
- 地域の会合等に参加した際にも必要に応じて相談対応を行います。相談者が来所できない場合や居住環境の把握が必要なケースは積極的に訪問し相談・支援を行います。
- 相談記録を対応状況や頻度に合わせた保管場所で管理し、地域包括支援センター内での情報共有することで速やかな対応を行います。
- 相談内容が多職種にかかわるケースにおいて、関係者でカンファレンスを行い課題を共有し役割り分担を確認しチームでの支援を行います。

戸塚区版《29年度 事業計画書》 横浜市下倉田地域ケアプラザ

権利擁護業務
<p>成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止</p>
<p>●成年後見制度啓発活動として権利擁護や消費者の法制度理解のため地域住民向けに講座開催します。 ●戸塚区サポートネットに参加し、あんしんセンターや地域の弁護士・行政書士等との関係作りに努め、相談・助言を受けられる体制作りの構築を行います。</p>
<p>高齢者虐待への対応</p>
<p>●権利侵害、虐待への対応は、医療機関、行政機関、居宅介護支援事業者、サービス事業者等の専門職がネットワークを組み、継続的に支援を行います。 ●民生委員の方々と日常的に連携を図り、地域の高齢者に関する情報交換を行います。 ●行政機関と定期的なカンファレンス開催の他、必要時の随時連絡やカンファレンスを開催し連携強化を図ります。 ●月に1回「介護者の集い」を開催し、認知症ケアや介護ストレスの予防、介護保険サービス活用方法等の勉強会を行い虐待防止に努めます。</p>
<p>認知症</p>
<p>●認知症支援グループ等と連携し地域住民向けに講座開催したり地域住民同士のネットワークの構築を図ります。 ●民生児童員連絡協議会・ケアマネサロン開催の際に「みつけてネット」「みまもりネット」のリーフレットについて説明・配布し地域住民への普及啓発の協力を依頼します。 ●認知症の相談があった際に「介護者の集い」「みつけてネット」の案内を意識的に行い新規の登録・参加の受付を行います。 ●みまもりネットの協力機関を増やし、地域での見守り体制を強化します。 ●地域の高齢者が参加する9ヶ所の食事会に参加し、認知症に関するミニ講座を行います。</p>
<p>包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p>
<p>地域住民、関係機関等との連携推進支援</p>
<p>●地域住民や関係機関に対して介護保険制度やケアマネジャーの役割などの周知を行います。 ●ケアマネジャーと地域の医療関係者、民生委員、ボランティア団体、介護保険サービス事業者等とのネットワーク構築や情報交換のために取り組みます。</p>
<p>医療・介護の連携推進支援</p>
<p>●ケアマネジャーとエリア内医療機関・薬局と情報交換の機会を作りネットワーク構築支援を行います。 ●在宅医療連携拠点と連携したり事例検討会に参加することで地域医療の推進を図ります。 ●地域の在宅診療所との情報交換を行い、在宅生活の継続を支えることに取り組みます。</p>
<p>ケアマネジャー支援</p>
<p>●勉強会、事例検討会、講座を開催しケアマネジャーのスキルアップ、多職種との連携支援を行います。 ●ケアマネジャーからの困難事例やケアマネジメントに関する相談に対し適宜スーパーバイズを行います。 ●新任、就労予定ケアマネジャーに対し介護保険制度や最新情報、社会資源研修や情報提供を行います。</p>

戸塚区版《29年度 事業計画書》 横浜市下倉田地域ケアプラザ

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 個別地域ケア会議を開催し高齢者の実態把握、課題解決、多職種協働にむけネットワーク構築を行います。
- 地域ケア会議の中から地域課題を把握し、問題解決・課題分析を行なうことで地域づくり・資源開発にむけて取り組みます。

介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

- 自助、共助、互助の機能を活用し、地域の中でつながりを持ちながら、生きがいを持って生活が送れるよう利用者並びに関わる委託先ケアマネジャー、介護予防事業者、地域住民等をエンパワーメントしていけるようにかかわります。

一般介護予防事業

- はつらつシニア読本を活用し、地域住民へ介護予防のきっかけになるような情報提供及びコーディネートをおこないます
- ボランティア交流会やケアプラザ祭り等で発表の場を作ることで、互いの、情報交換・情報共有を行い新たな活動のきっかけ作りを行います。
- 認知症であっても地域活動に参加ができ、また参加者の異変に気が付けるよう活動団体の担い手が認知症について学習する講座を開催します。
- 健康寿命をのばすために、運動・口腔機能・栄養・認知症をテーマに介護予防教室を開催します。

平成29年度 「横浜市下倉田地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,417,000	0	19,417,000		19,417,000	横浜市より（施設使用料相当額を除く）
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入			0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	3,990,000		3,990,000		3,990,000	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	3,990,000	0	3,990,000	0	3,990,000	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	19,417,000	0	19,417,000	0	19,417,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,689,000	0	10,689,000	0	10,689,000	
本俸	8,198,000		8,198,000	0	8,198,000	
社会保険料	1,065,000		1,065,000	0	1,065,000	
手当計	946,000		946,000	0	946,000	
健康診断費	49,000		49,000	0	49,000	
勤労者福祉共済掛金	77,000		77,000	0	77,000	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	354,000		354,000	0	354,000	
その他			0		0	
事務費	1,542,880	0	1,542,880	0	1,542,880	
旅費	5,000		5,000	0	5,000	
消耗品費	102,000		102,000	0	102,000	
会議ठी費	8,000		8,000	0	8,000	
印刷製本費	190,000		190,000	0	190,000	
通信費	179,880		179,880	0	179,880	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	145,000		145,000	0	145,000	
図書購入費	25,000		25,000	0	25,000	
施設賠償責任保険	110,000		110,000	0	110,000	
職員等研修費	30,000		30,000	0	30,000	
振込手数料	8,000		8,000	0	8,000	
リース料	687,000		687,000	0	687,000	
手数料	18,000		18,000	0	18,000	
地域協力費	35,000		35,000	0	35,000	
その他	0		0	0	0	
事業費	695,000	0	695,000	0	695,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	653,000		653,000	0	653,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	5,635,000	0	5,635,000	0	5,635,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	指定額
光熱水費	3,120,000	0	3,120,000	0	3,120,000	
電気料金	917,000		917,000		917,000	
ガス料金	950,000		950,000		950,000	
水道料金	1,253,000		1,253,000		1,253,000	
清掃費	502,000		502,000	0	502,000	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
機械警備費	60,000		60,000	0	60,000	
設備保全費	1,360,000	0	1,360,000	0	1,360,000	
空調衛生設備保守	882,000		882,000	0	882,000	
消防設備保守	47,000		47,000	0	47,000	
電気設備保守	65,000		65,000	0	65,000	
害虫駆除清掃保守	25,000		25,000	0	25,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	341,000		341,000	0	341,000	
共益費	69,000		69,000	0	69,000	
その他	50,000		50,000	0	50,000	
公租公課	855,120	0	855,120	0	855,120	
事業所税			0		0	
消費税	855,120		855,120	0	855,120	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	19,417,000	0	19,417,000	0	19,417,000	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「横浜市下倉田地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書 (特別会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	23,587,000		23,587,000		23,587,000	横浜市より
指定管理料 (介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	介護保険収入等充当分
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入			0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 ()			0		0	
その他 ()			0		0	
収入合計	29,527,000	0	29,527,000	0	29,527,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,659,000	0	25,659,000	0	25,659,000	
本俸	16,805,500		16,805,500		16,805,500	
社会保険料	3,453,418		3,453,418		3,453,418	
手当計	4,532,731		4,532,731		4,532,731	
健康診断費	125,625		125,625		125,625	
勤労者福祉共済掛金	26,250		26,250		26,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	715,476		715,476		715,476	
その他	0		0		0	
事務費	1,097,000	0	1,097,000	0	1,097,000	
旅費	20,000		20,000		20,000	
消耗品費	50,000		50,000		50,000	
会議ठीい費	8,000		8,000		8,000	
印刷製本費	80,000		80,000		80,000	
通信費	150,000		150,000		150,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	65,000		65,000		65,000	
図書購入費	30,000		30,000		30,000	
施設賠償責任保険	110,000		110,000		110,000	
職員等研修費	30,000		30,000		30,000	
振込手数料	5,000		5,000		5,000	
リース料	549,000		549,000		549,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	0		0		0	
事業費	1,399,000	0	1,399,000	0	1,399,000	
協力医	630,000		630,000	0	630,000	指定額
介護予防事業	151,000		151,000	0	151,000	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000	0	309,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	309,000		309,000	0	309,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	1,372,000	0	1,372,000	0	1,372,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	指定額
光熱水費	750,000	0	750,000	0	750,000	
電気料金	210,000		210,000		210,000	
ガス料金	240,000		240,000		240,000	
水道料金	300,000		300,000		300,000	
清掃費	133,000		133,000	0	133,000	
修繕費	84,000		84,000	0	84,000	
機械警備費	16,000		16,000	0	16,000	
設備保全費	308,000	0	308,000	0	308,000	
空調衛生設備保守	21,000		21,000	0	21,000	
消防設備保守	113,000		113,000	0	113,000	
電気設備保守	17,000		17,000	0	17,000	
害虫駆除清掃保守	67,000		67,000	0	67,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	90,000		90,000	0	90,000	
共益費	17,000		17,000	0	17,000	
その他	64,000		64,000	0	64,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他 ()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	29,527,000	0	29,527,000	0	29,527,000	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ケアプラザ祭り	子供～大人	150,000	120,000	30,000	10,000	140,000	0
	600人						
	実費負担						
子育て支援下倉田	親子	25,000	25,000	0	10,000	5,000	10,000
	300人						
サロンはなだて	子供から大人まで	50,000	50,000	0	0	50,000	0
	300人						
なでしこ食事サービス	65歳以上	15,000	15,000	0	0	0	15,000
	40人						
野の花コーラス	中高年世代女性	30,000	20,000	10,000	20,000	10,000	0
	200人						
	400円(年)						
ボランティア交流会	登録ボランティア	30,000	30,000	0	0	30,000	0
	27人						
キッズデイ	地域の子供	10,000	8,000	2,000	0	10,000	0
	20人						
	100円(1人)						
子育て応援タイム	未就園児とその親	5,000	5,000	0	0	5,000	0
	1日親子4組						
中高生のつどい	障害のある中高生	30,000	30,000	0	0	20,000	10,000
	100人						
	300円(1回)						
音ひろば	障害のある小中学生	80,000	62,000	18,000	80,000	0	0
	60人						
	300円(1回)						
パパと子供のうどんづくり	未就園児とその親	10,000	6,000	4,000	0	10,000	0
	10組						
	400円(親子1組)						
展示作品展	地域	2,000	2,000	0	0	2,000	0
	60名						
		437,000					

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
親子リトミックタイム	未就園児とその親	20,000	10,000	10,000	20,000	0	0
	親子10組×2回						
	500円(1回)						
大きな塗り絵をみんなで塗ろう	地域	5,000	5,000	0	0	5,000	0
	100名						
あそびのつどい	障害のある小中学生	10,000	7,000	3,000	0	10,000	0
	10人						
	300円(1回)						
地図改定プロジェクト	地域	6,000	6,000	0	0	6,000	0
	5人						
運営協議会	地域	30,000	30,000	0	0	0	30,000
	10人×2回						
		71,000					

平成29年度 自主事業計画書

横浜市下倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
下倉田地域ケア プラザ祭り	<p><事業目的> 下倉田地区連合・地区社協・各種団体で実行委員形式で祭りの企画・運営をおこない。各種団体の相互交流の機会をはかり、地域ニーズ把握につとめる</p> <p><事業内容> 、ケアプラザ祭りでは模擬店出店や登録団体の活動発表を行う。また祭り開催に伴い実行委員会を開催し、どのようなイベントを仕掛ければ地域が盛り上がるのか検討する。</p>	H29年7月～H30年12月 実行委員会2回 祭り実施1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援 下倉田	<p><事業目的> 地域で子育てに関わる人材同士の交流や協力を図る</p> <p><事業内容> 主任児童委員や子育てサークル参加者区や区社協と一緒に子育てイベントの企画・運営を行う（子育てリユースの会・水あそび会・講演会）</p>	H29年4月～H30年3月 年間約10回打ち合わせ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロンはなだて	<p><事業目的> 様々な年代が参加できる企画を実施する事によって地域住民の世代間交流を図る</p> <p><事業内容> 大人対象映画会、折り紙教室、童謡唱歌などを歌う会、工作、プラレールで遊ぼう、書初め、子ども向け映画会、人形劇</p>	H29年4月～H30年3月 年間12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なでしこ食事 サービス会食会	<p><事業目的> 独居、日中独居の高齢者が出かけ行く場の確保</p> <p><事業内容> 65歳以上の一人暮らしや日中独居の人を対象にした食事会の実施。</p>	H29年9月 年間1回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市下倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
野の花コーラス	<p><事業目的> 中高年世代が参加できる余暇活動を提供し、ボランティア活動に発展させる。</p> <p><事業内容> コーラス練習・コーラス</p>	H29年4月～H30年3月 年間12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p><事業目的> ケアプラザで活動しているボランティア同士の交流と現在ボランティアを行っている事業以外の事業へのボランティアのきっかけづくり</p> <p><事業内容> ボランティア活動の発表</p>	H30年3月に1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズデイ	<p><事業目的> 夏休み中の親子、子ども向け事業。2歳から小学生と未就学児の親を対象として仲間作りの場や子育て支援の場</p> <p><事業内容> 様々な工作のブースを5種類程度実施。</p>	H29年8月に1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て応援タイム	<p><事業目的> 母親同士の交流の機会を提供し子育て支援を行う。</p> <p><事業内容> 親子のフリースペース</p>	H29年4月～H30年3月 年間9回(7月8月12月は休み)

平成29年度 自主事業計画書

横浜市下倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
中高生のつどい	<p><事業目的> 障害のある子供の余暇活動の場の提供、 地域との交流、レスパイトケア</p> <p><事業内容> 工作・ゲーム、調理等を実施</p>	H29年4月～H30年3月 年間12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音ひろば	<p><事業目的> 障害のある子供の余暇活動の場の提供、 地域との交流レスパイトケア</p> <p><事業内容> 音楽・楽器を使って楽しく過ごす</p>	H29年4月～H30年3月 年間12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパと子供のう どん作り	<p><事業目的> 地域のパパさんにも、ケアプラザを知ってもらい、今後の つながり作りのきっかけを作る</p> <p><事業内容> 親子で参加できるお昼ごはん作りを実施する</p>	H29年4月～H30年3月 年間1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
展示作品展	<p><事業目的> 地域住民がケアプラザに足を運んでくださるきっかけ作 り、活動団体の意欲向上を目指す</p> <p><事業内容> 下倉田地域ケアプラザで活動するサークルや地域住民の作 品展示をおこなう</p>	H29年4月～H30年3月 年間12回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市下倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子リトミック タイム	<p><事業目的> 地域のパパさんにも、ケアプラザを知ってもらい、今後のつながり作りのきっかけを作る親同士の交流の機会を提供し子育て支援を行う。</p> <p><事業内容> 親子でリトミック体験</p>	H29年4月～H30年3月 年間2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大きな塗り絵を みんなで塗ろう	<p><事業目的> ケアプラザを知ってもらいきっかけ作り、夏休みに向けて余暇活動の場の提供</p> <p><事業内容> 地域住民ならどなたでも参加でき、大きな塗り絵（NuRIE）をみんなで塗る</p>	H29年7月中 年間1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あそびのつどい	<p><事業目的> 障害のある子供の余暇活動の場の提供、地域との交流レスパイトケア</p> <p><事業内容> 料理やゲーム等の余暇支援を行うことで、参加者同士で楽しく過ごす（ボランティアさんも募集する）</p>	H29年5月中 年間1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地図改定プロ ジェクト	<p><事業目的> 転入者等の地域住民に下倉田地域とケアプラザを知ってもらい</p> <p><事業内容> 地域住民と協力し、下倉田エリアの地図の更新を行っていく 希望者等に配布できるように、作成する</p>	H29年4月～H30年3月 年間数回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市下倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
運営協議会	<p><事業目的> 地域がよりよくなる為に、ケアプラザの運営に関して地域に周知見直し等を図る</p> <p><事業内容> ケアプラザの運営に関して地域住民、区等を協議する</p>	H29年4月～H30年3月 年間2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成29年度 自主事業計画書

横浜市下倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者の集い 「ぼかぼかサロン 下倉田」	目的：介護者支援・虐待防止 高齢者を介護している介護者が同じ悩みや経験をもつ方々と交流を深め親睦を図る。 ミニ講座で介護に役立つ知識を取得。 レクを通して心身のリフレッシュを図る。 内容：介護に関する情報交換、専門職からのアドバイス、ミニ講座研修による介護技術習得、リフレッシュ等	毎月1回 第3木曜開催 (8/3月休会)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
知って得する健康 福祉講座	目的：権利擁護 将来判断能力に不安が生じても住み慣れた地域で安心して生活を継続するための知識の習得 内容：講演会の開催	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア会議	目的：多職種協働による地域支援ネットワークの構築 自助、互助、共助、公助でのケア体勢の整備 内容：困難事例や成功事例等の個別課題を基にして地域の現状や課題を共有する。地域の関係者と連携を強化し課題解決に取り組む	個別3回 圏域1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	目的：ケアマネジメントのスキルアップ 医療機関とのネットワーク構築 ケアマネジャー間の情報交換会 内容：ケアマネジャーからの様々な相談への支援 医療機関との連携構築、 勉強会の実施、他職種・医療関係者との交流	年2回程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
居介支連絡会	目的：民生・児童委員とケアマネジャーとの連携推進 内容：民生・児童委員とケアマネジャーとの情報交換、 ネットワーク連携支援体制の構築	年1回程度

平成29年度 自主事業計画書

横浜市下倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	<p><事業目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な場所で登録研修会を実施する事で、シニアボランティアポイント制度を活用した生きがいづくりをしていく。 ・新規ボランティアの発掘 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・よこはまシニアボランティアポイント登録研修会の実施。 	H29年5月6月・9月・11月・3月 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ラジオ体操の会	<p><事業目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高年から前期高齢者を中心とした健康意識の上昇のために、身近なラジオ体操をやる場を設置。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操第1・第2・みんなの体操、筋トレの実施。 	6月より月1回 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のたまり場 (仮称)	<p><事業目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃出てこない男性の高齢者が出てきやすい場を創出する事で、課題のある男性の把握。定期的見守り等。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性だけのたまり場の開催。 	未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症カフェ	<p><事業目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方や家族が来やすい、相談しやすい場を身近に創る事で、認知症をより身近な病気である事を認識してもらおうと同時に啓発活動も行う。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの実施。 	未定

平成29年度 自主事業計画書

横浜市下倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
暮らしの困り事講座	<p><事業目的></p> <ul style="list-style-type: none">・男性のやりがい・生きがいづくりのために、住まいの修繕等を内容とした講座を開催。その参加者からボランティアグループの創出を検討するために開催。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none">・暮らしの困り事講座を開催。	11月・12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちょこっとボランティアグループ（仮称）	<p><事業目的></p> <ul style="list-style-type: none">・地域の男性のやりがいや活動を通じての地域の人たちのつながりをつくる <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none">・暮らしの困り事を内容としたボランティア活動の展開	未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数